

(家庭数配布)



1年生を迎える会がありました。

今週の月曜日には、「1年生を迎える会」がありました。コロナの問題が起こる前には、体育館や運動にて全校児童が集まり行われていた行事ですが、今は多くの学校でオンラインが使われています。

本校でも、各学年の代表が多目的室に集まり、オンラインにより1年生へメッセージを送っていました。1年生はその様子を、教室にある大きなテレビで観ます。それが終わると、今度はタブレットを1年生の各教室に持って行き、1年生からも手を振ったりしてお礼の気持ちを返します。本当は、直接顔を見ながらやりたいところですが、今は仕方ありませんね。早くもとの状態に戻ってほしいと思います。

写真を撮りましたので、ご覧ください。



2年生以上の映像を

1年生が教室で観ています。



最後は1年生の映像を全学年に

◇「あいさつをしましょう！」…でも、なぜ？

始業式の翌日より、朝8時前から8時半頃まで校門に立ち、登校してくる子どもたちに「おはようございます。」とあいさつをしています。元気な声で返してくれる子、会釈だけの子、恥ずかしそうに下を向いて通り過ぎる子、様々です。

入学式での校長の話は、私も含めてですが、たいがい「あいさつをしましょう。」です。では、「なぜ、あいさつをするの？」と考えたことはありませんか？私は以前、このことについて少し調べたことがあります。その中で「あいさつは目の前にいる人に対するメッセージである。」というものがありませんか？あいさつの言葉自体には、特に意味はありません。もし、相手との関係が出来上がっているならば、「オッス。」とか「よっ。」でも構いません。大事なことは、相手の目を見ながら何らかの言葉を発することで、「私はあなたの存在を認めていますよ。大切にしますよ。」の気持ちを伝えることになる、ということです。

人って、絶対に1人では生きていけません。どんな人であっても、誰かに助けてもらって生きているし、また逆に助けることもしているでしょう。であるならば、できれば良好な関係を保ちたいですね。そのための、まずは入口として「あいさつ」を大切にしていきたいものです。

◇5・6年生のテストから…。

今週の火曜日、6年生は学力テストとすくすくウォッチ、5年生はすくすくウォッチに取り組みました。これは、日頃学校で行っているテストとは全く違い、どちらも「はっきり言って難しい！」です。このテストは大雑把に言うところ、「様々な情報の中から何が必要で何が不要ではないのかが分かる、さらに、その必要な情報をどのように使えるのかを試す。」ようなテストになっています。単なる暗記力のテストではありません。これが子どもたちに求められている学力でしょうし、子どもたちが大人になった時に、「より充実した生き方をする」ために最も求められる力です。算数で言えば、単に九九を覚えるだけでは学力がついたとは言えません。その九九をどのような場面で、どのように使うかが求められるということです。

(少し話が難しくなってきました。)でも、5・6年生の子どもたち、この難しいテストにも真剣な表情で取り組んでいました。6年生に至っては、この日は丸一日テスト漬け。よほど疲れたのではないのでしょうか。発行が数日後になっていますが、頑張った子どもたちを褒めてあげてください。子どもは褒められることで、さらにやる気を出しますので、よろしくお祈りします。

